

警察職員 Recruitment

2021年三重県警察就職説明会 事前申込制

開催日時	開催場所	所要時間
3月19日(金) 13:30～	四日市北警察署	全日程 約2時間
3月20日(土) 9:30～	三重県警察本部	
3月23日(火) 13:30～	松阪警察署	参加人数
3月25日(木) 9:30～	三重県警察本部	各会場 最大30名
3月28日(日) 9:30～	三重県警察本部	

注意事項 全ての説明会は同じ内容です。お一人につき1回のみ参加をお願いします。

参加対象 高校生以上で35歳未満の方で、警察業務に少しでも興味のある方

参加申込 三重県警察オフィシャルホームページ【就職説明会】申し込み入力フォーム
三重県警察本部警務課採用係
TEL 059-222-0110 ☎ 8:30～17:15

申込期限 3月15日(日) 先着順制

※定員になり次第、受付締切

DANGER! SNS 犯罪

春休みや新学期を迎えるこの時期。新しくスマートフォンを手にした子どもたちの周りには、危険が多く潜んでいます。

自分の写真や個人情報などを掲載して脅された

SNSで交流した人と実際に会って危険な目にあった

SNSに関連した犯罪被害を防ぐために SNS 犯罪回避チャレンジ

を確認！漫画や動画を使ってわかりやすく SNS 犯罪について解説しています。

三重県警察 HP SNS 回避チャレンジ

1月31日 感染症の影響で美し国駅伝が中止に
駅伝菟野町チームが最後の練習



最後の練習で行われたチーム内3組に分かれてのリレー

第14回美し国三重市町対抗駅伝が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことをうけて、菟野町チームの最後の練習を行いました。菟野町チームは、昨年の同大会で総合4位、町の部優勝という結果で2連覇が期待されており、選手たちは悔しそうな表情を浮かべる場面もありました。最後の練習では、チーム内で分かれてのリレー練習などを行った後、監督の山口さんから「これまで半年間で築き上げたチームワークを来年の大会に繋げてほしい」と励ましの言葉が贈られ、来年の大会での健闘を誓いました。



1月27日 南伊勢町とさらなる連携を目指して
南伊勢町商工会と協定締結



菟野町商工会の社長(写真左)と南伊勢町商工会の小山会長(写真右)

商業 工業振興のための連携協定を菟野町商工会と南伊勢町商工会が締結しました。これは、昨年10月に菟野町と南伊勢町が観光振興に向けた連携協定を結んだことをきっかけに、両町の商工会も連携も深めるために締結したものです。今後は、イベントでの特産品の共同出品を行っていくことなどで連携を図っていく予定です。菟野町商工会の社長は締結式で「青年部や女性部など広く交流し、未永いお付き合いをしていきたい」と話し、南伊勢町商工会の小山会長は「海の町、山の町、それぞれの特性を生かして発展につなげたい」と意気込みを語りました。

1月27日 千種地区の生活には欠かせない橋
崩落した音羽橋を復旧



通行が可能となった音羽橋

令和元年9月5日から6日にかけて降った記録的な大雨の影響で崩落した海蔵川に架かる音羽橋の復旧が完了し、開通しました。今回の工事では、橋とともに崩れた周辺の護岸も合わせて修繕が行われました。周辺地域の生活道路として欠かせなかったこの橋は、崩落後に知事が視察に訪れるなど、地元区から早期の復旧が待ち望まれていました。

2月10日 人命救助と初期消火への尽力に感謝
消防協力者に感謝状を贈呈



感謝状を手に写る位田さん(写真中央)

下村地内で1月8日に発生した建物火災で人命救助と初期消火活動を行い、火災の被害軽減に尽力した位田良三さん(下村)に感謝状を贈呈しました。位田さんは「煙がすごかったが、親しくしている近所の方だったので必死に救助しました。自警団で消火器の点検を行っていたので、スムーズに消火活動を行えてよかった」と振り返りました。

今回は、菟野町の財政や行政運営に関するお話です。

当町はもとも町税などの自前の収入だけで資金を賄うことはできず、国からの交付金や国、県からの補助金などを受けて運営しています。また、戦後の高度成長期には、人口が増え、経済も急速に発展して見込みがありました。しかし、今後は収入が直ちに増加する見込みはなく、むしろ減少する可能性が高いといえます。にもかかわらず、歳出は高度成長期に比べ、はるかに増大しています。皆さんの家計でもそうですが、給料がカットされ、収入が減るのに今までの生活の続けよう。私、当町が今後見込まれる収入に見合った行政運営ができるよう、

町長のひとり語り

The Story of our Mayor



Theme 24 いつまでも住みよい町へ

行財政の体質改善、町の「再生」が必要であると考えています。具体的には、事業の遂行を円滑にし、皆さんの負担を軽減するため、各課が連携を図りやすい環境づくりに取り組んでまいります。特に支出を控えるには、知恵と工夫が必要です。また、上司からの命令や部下からの声が循環する風通しのよい組織づくりも重要であると考えております。歳入歳出予算策定の過程の見直しや行政組織の見直し等を通じて、より効率的な行財政運営を目指します。

このような体質改善を実現するには、何よりも町民の皆さんの深いご理解が必要となります。今後も丁寧な説明を心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。